

平成 22 年 5 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社ノーリツ
代表取締役社長 國井 総一郎
兼 代表執行役員
(コード 5943 東証第1部、大証第1部)
問 合 せ 先 取 締 役 金田 友三郎
兼 常務執行役員
(電話番号 078-391-3361)

(訂正) 平成 22 年 12 月期第 1 四半期決算短信の一部訂正について

平成 22 年 4 月 30 日に公表いたしました「平成 22 年 12 月期第 1 四半期決算短信」の一部に訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

訂正箇所 (訂正箇所は下線にて表示しております)

3 ページ 定性的情報・財務諸表等 1. 連結経営成績に関する定性的情報

【訂正前】

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内外の在庫調整の進展や新興国を中心とした海外経済の回復を背景とした輸出や生産の増加、政府の経済対策の効果などにより、景気を持ち直しが一部見られるものの、雇用情勢や個人消費の低迷は続いており、依然として厳しい状況で推移いたしました。

国内住宅設備業界におきましても、新設住宅着工数は依然低調に推移し、取替え需要は一部回復の兆しが見られつつありますが、当社を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「コスト構造の見直し」「成長に向けた仕掛け」を 2 大テーマとして住設システム機器事業体制のスリム化、環境・省エネ意識の高まりを受け、給湯・ふろの両方で高効率化を図ったダブルエコ G T シリーズの発売、海外市場では中国・米国を中心に販売網の拡大を進めてまいりました。

この結果、当第 1 四半期連結累計期間における売上高は 444 億 1 百万円 (前年同期比 4.1% 増) となりました。利益面につきましては、売上増と原価低減、経費削減により、営業利益は 29 億 28 百万円 (同 270.0% 増)、経常利益は 30 億 94 百万円 (同 153.3% 増)、四半期純利益は 16 億 39 百万円 (同 67.1% 増) となりました。

【訂正後】

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内外の在庫調整の進展や新興国を中心とした海外経済の回復を背景とした輸出や生産の増加、政府の経済対策の効果などにより、景気を持ち直しが一部見られるものの、雇用情勢や個人消費の低迷は続いており、依然として厳しい状況で推移いたしました。

国内住宅設備業界におきましても、新設住宅着工数は依然低調に推移し、取替え需要は一部回復の兆しが見られつつありますが、当社を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「コスト構造の見直し」「成長に向けた仕掛け」を 2 大テーマとして住設システム機器事業体制のスリム化、環境・省エネ意識の高まりを受け、給湯・ふろの両方で高効率化を図った G T シリーズの発売、海外市場では中国・米国を中心に販売網の拡大を進めてまいりました。

この結果、当第 1 四半期連結累計期間における売上高は 444 億 1 百万円 (前年同期比 4.1% 増) となりました。利益面につきましては、売上増と原価低減、経費削減により、営業利益は 29 億 28 百万円 (同 270.0% 増)、経常利益は 30 億 94 百万円 (同 153.3% 増)、四半期純利益は 16 億 39 百万円 (同 67.1% 増) となりました。

以 上